

大会
144MHz

144MHz

スタート地点

縮尺 Scale 1:15,000

Contour Interval 5m

記号の説明

二重線	二重線道路
---	駐車場
---	運路
---	小道
---	小径
---	通行不能の道
---	フェンス (透過)
---	高塔
---	墓地
---	人工特設物
---	池
---	小さな池
---	井戸
---	湿地
---	川
---	耕作地 (立入禁)
---	果樹園 (立入禁)
---	開けた土地
---	半ば開けた土地
---	建物
---	住宅密集地
---	民家の敷地
---	走行可能
---	歩行可能
---	歩行困難
---	通行困難
---	明確な境界
---	地境界
---	等高線
---	計画線
---	土がけ
---	ビーク
---	小さな穴

スタート

ゴール

常設
化水道



2012長野大会 (144MHz) での 私の判断と行動

2012年6月10日(日)
於 長野県芥子坊主

安島 巧



芥子坊主

scale 1:15,000

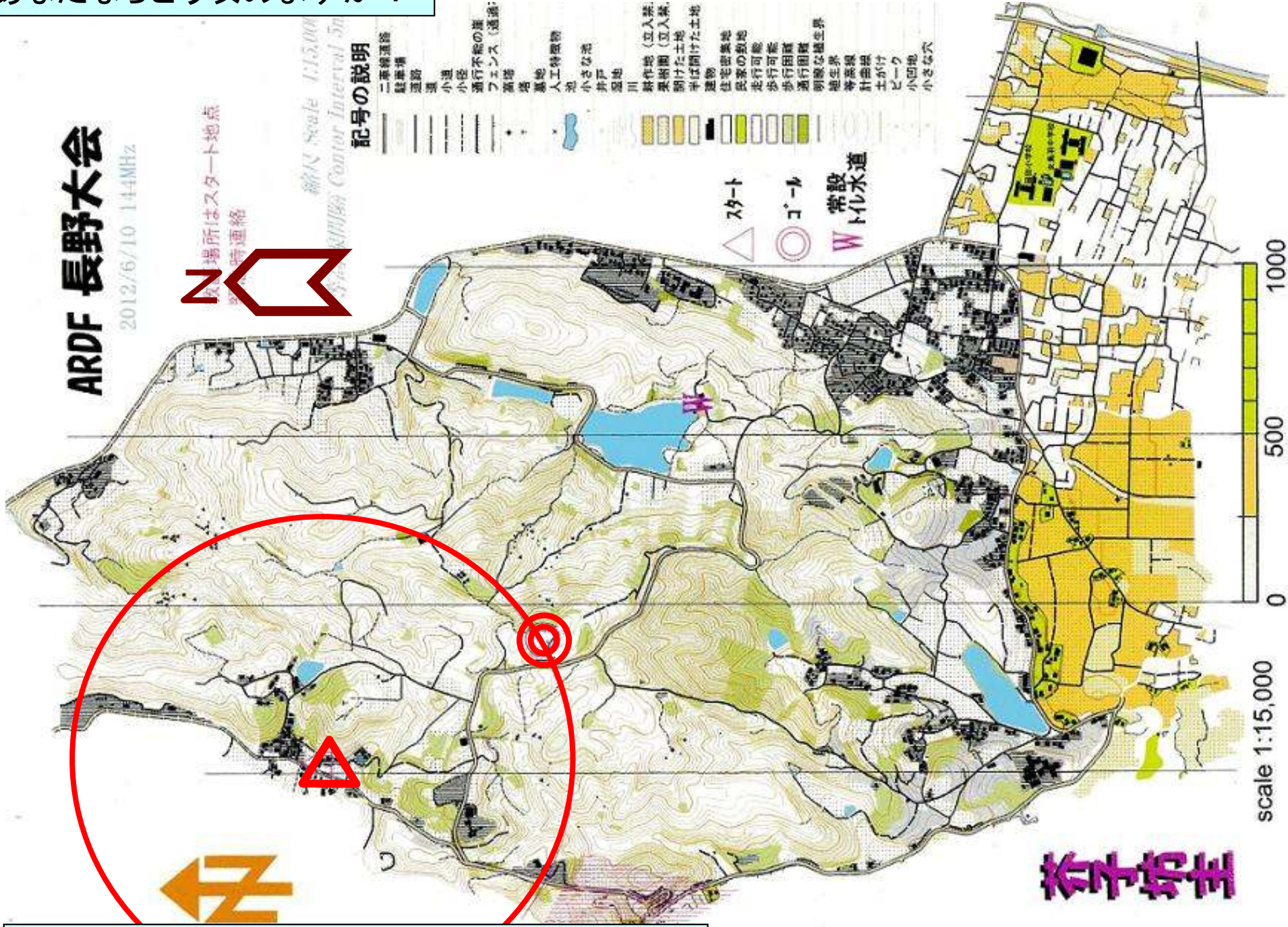
初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

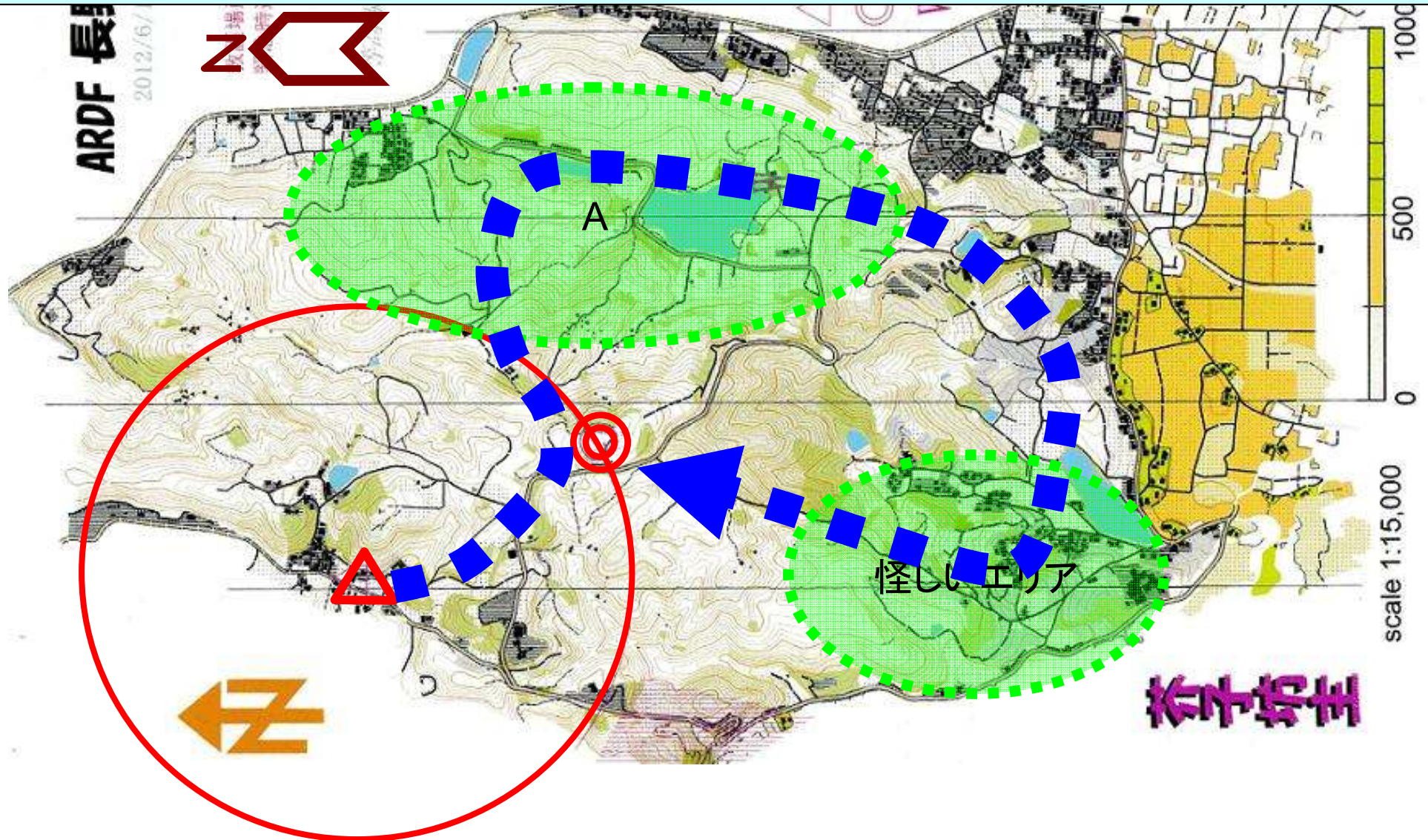
あなたならどう攻めますか？



0 主催者からの情報: TX2付近に水場がある

①スタート前の地図読み

2mでは苦手な低地スタートだ。まずテレイン全体を見渡せる見晴らしの良い場所に行かねばならない。ゴール地点が高そうなのでまずそこを目指すことにする。距離的に言って、平野部にはなく山間部と想定する。北側はスタート円の外側はそれほど厚くない。つまりスタート円に沿っているということだ。Aエリアそして「怪しいエリア」にあると推定。高所から攻めたいので、右回りで進むことにする。



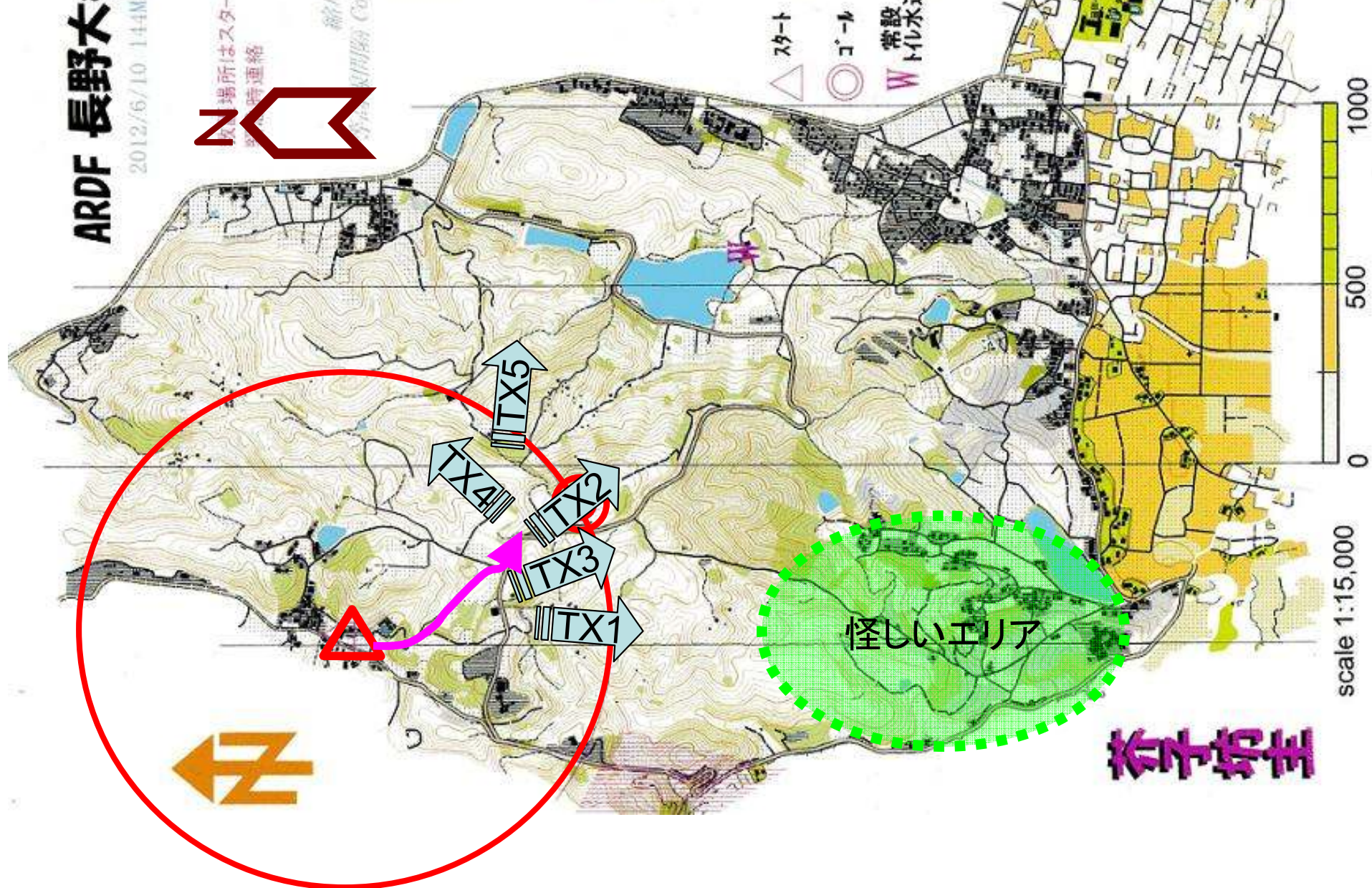
②探索開始地点

ここで方探しても全く意味がない。しかし、最初からこんな急坂とは。



③最高地点

最高地点と思しき場所に出た。見晴らせないのが残念。TX1,3は「怪しいエリア」方向で、TX4,5はスタート円に沿った方向だ。TX2は給水ポイントに違いない。予定通りTX4,5を目指す。





④建物

建物で現在場所を再確認する。TX4が鳴く。左の山道方向だ。間違えると悲惨なので入念に確かめる。左の山道をひたすら進むことにする。。



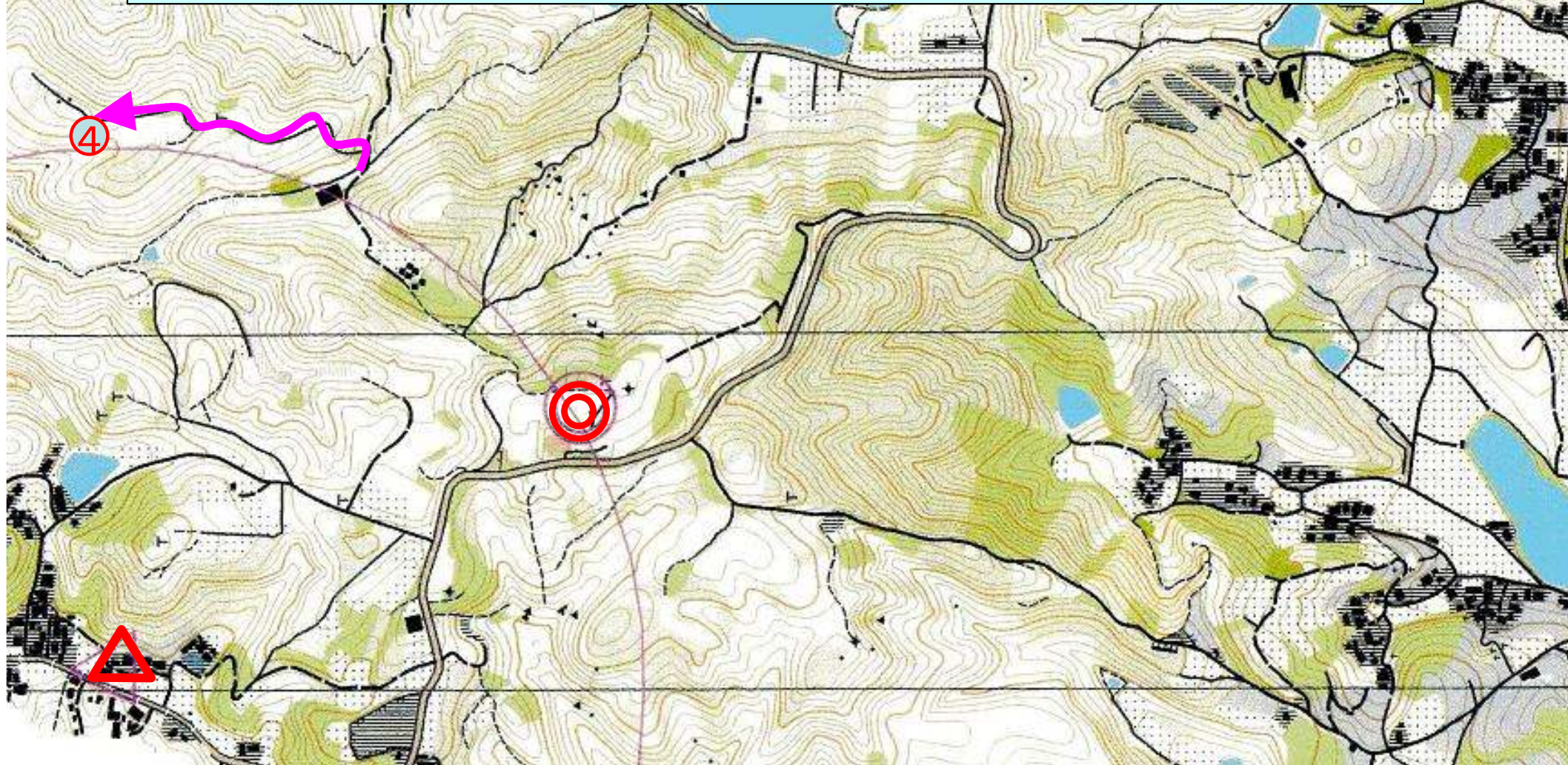
建物





⑤TX4

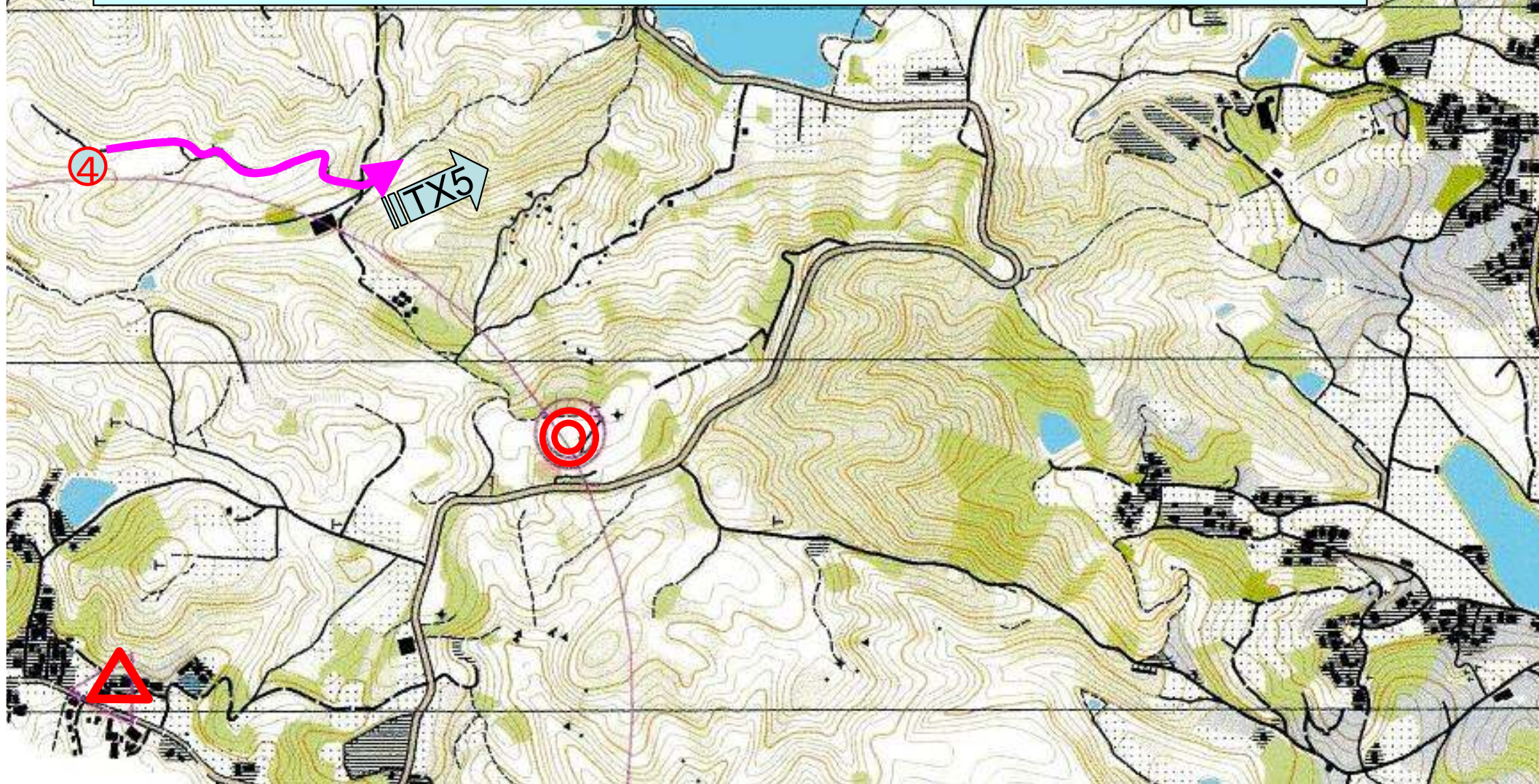
結構近くなってきた。進行方向少し左だ。停波したところで、少し左側の林に入ってみるがない。道に戻りさらに進む。またTX4が鳴く。超至近距離だ。TX4ゲット。





⑥建物2

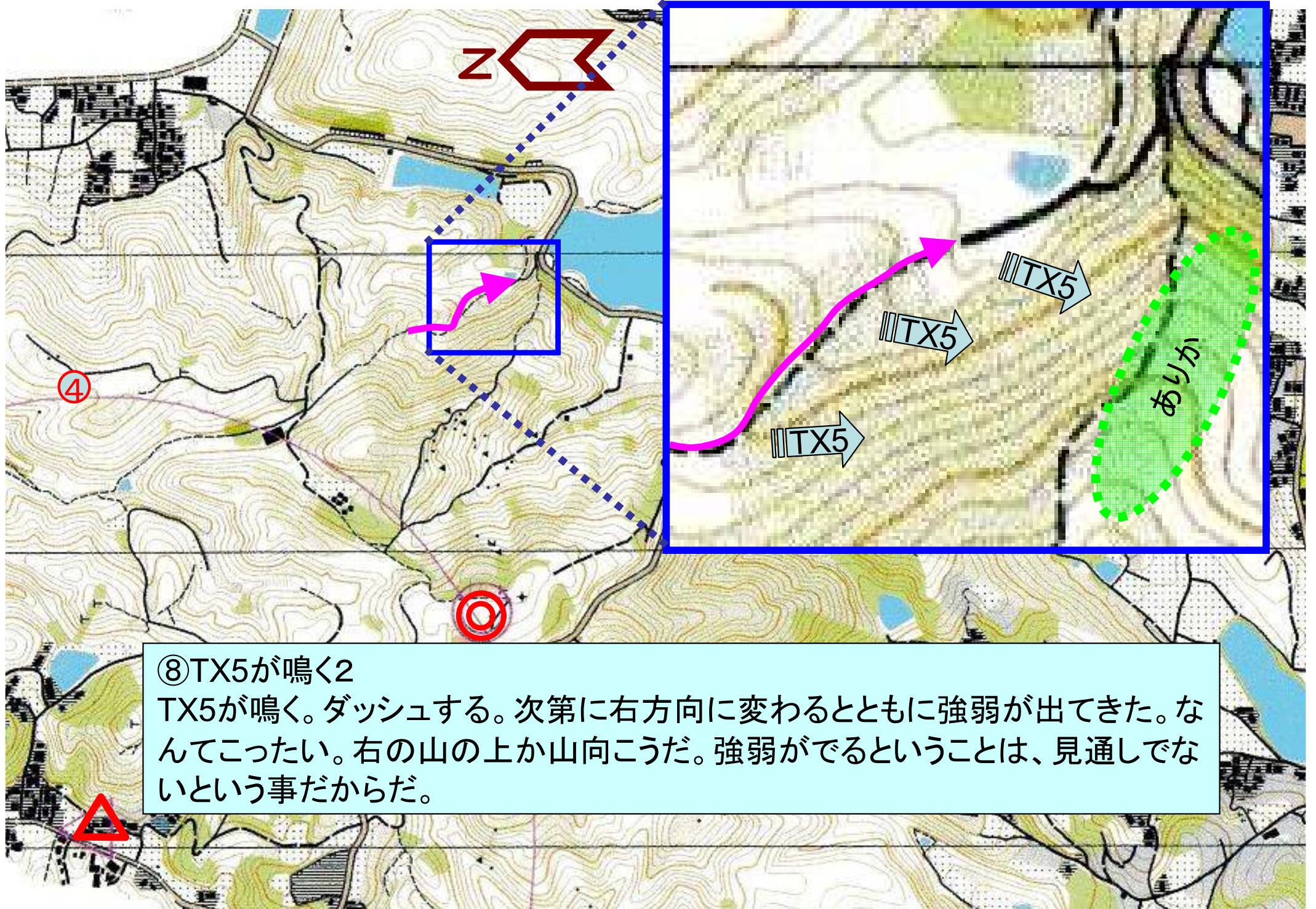
山道を降りながらNさんOさんとすれ違う。建物の場所に戻ってきた。TX5が鳴く。山道を下った方向だ。その山道をまっすぐと進む。





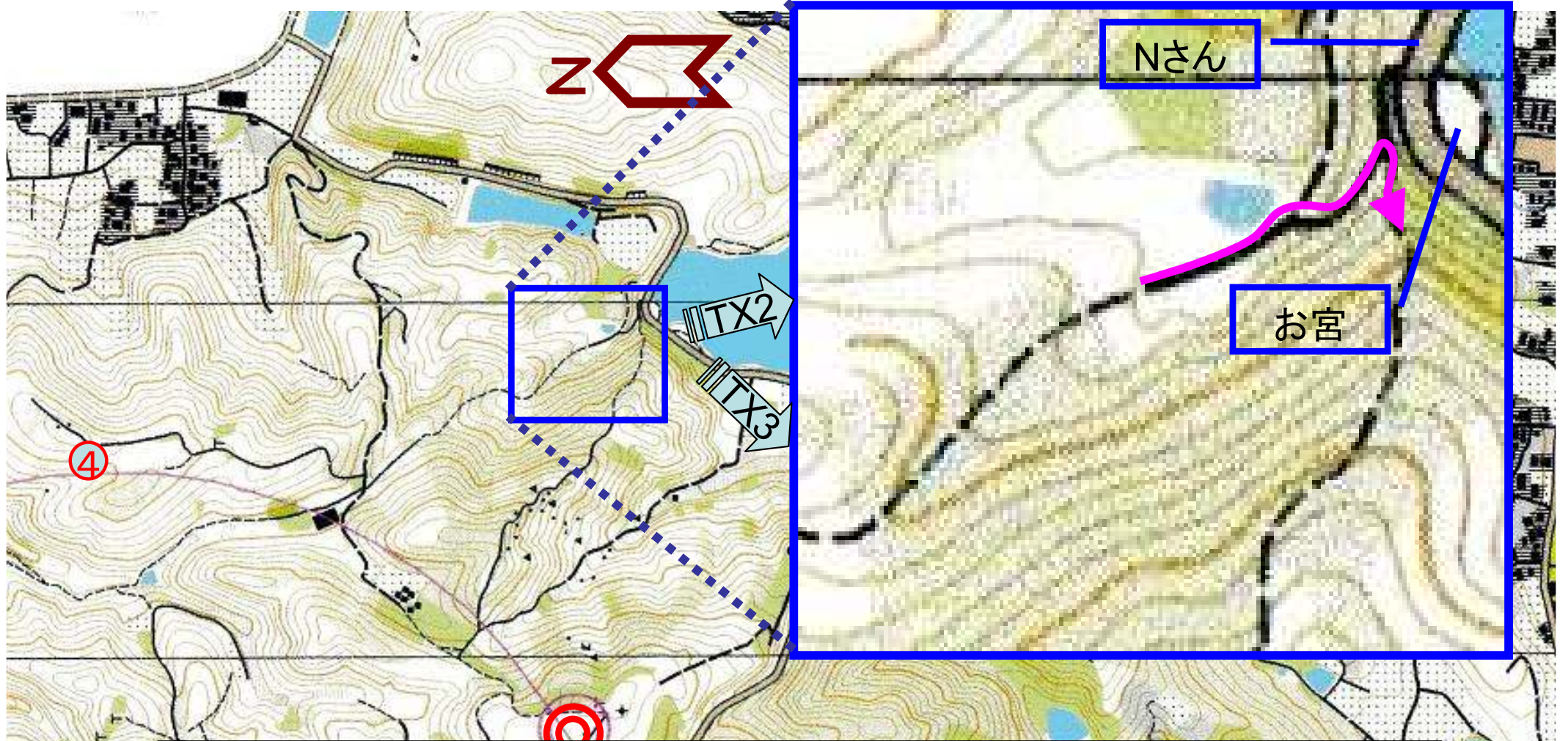
⑦TX5が鳴く

TX5が鳴くやはり道方向若干右だ。停波したのでゆっくりと目視探索しながら坂を下る。結構な勾配なので、下りすぎると致命傷だ。本当にゆっくりとおりる。



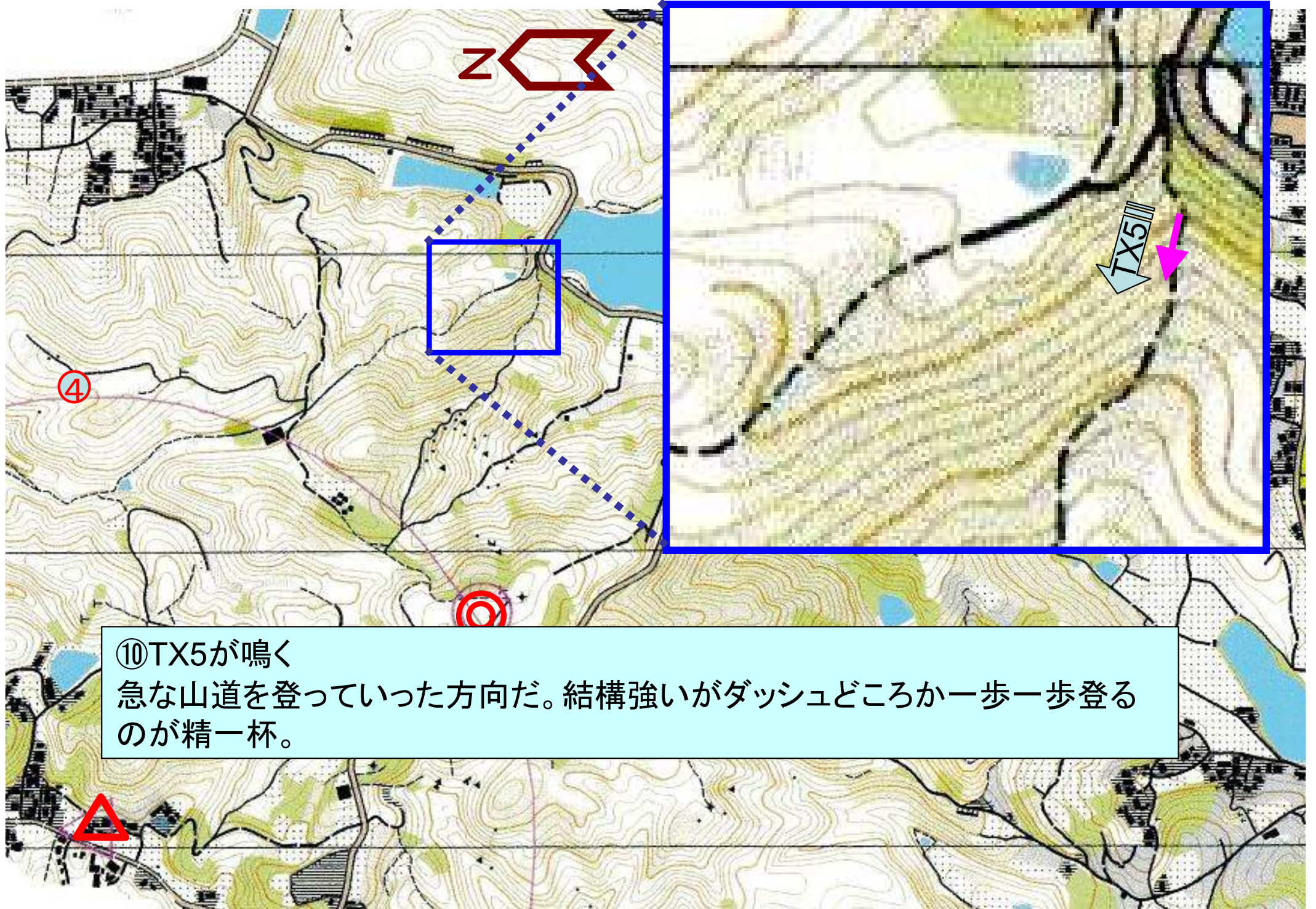
⑧TX5が鳴く2

TX5が鳴く。ダッシュする。次第に右方向に変わるとともに強弱が出てきた。なんてこったい。右の山の上か山向こうだ。強弱がでるといことは、見通しでないという事だからだ。



⑨見晴らし場所

池が見えるところに出た。右方向に上がる道があるので少し登る。Nさんは池のほとりまで降り目視探索をしている。確かに池のほとりのお宮っぽいところも怪しいが、そこはNさんに任せよう。自分は高みの見物をする。安易に降りてはいけなからだ。TX2はやはり給水ポイントだ。TX3はやはり「怪しいエリア」方向だ。

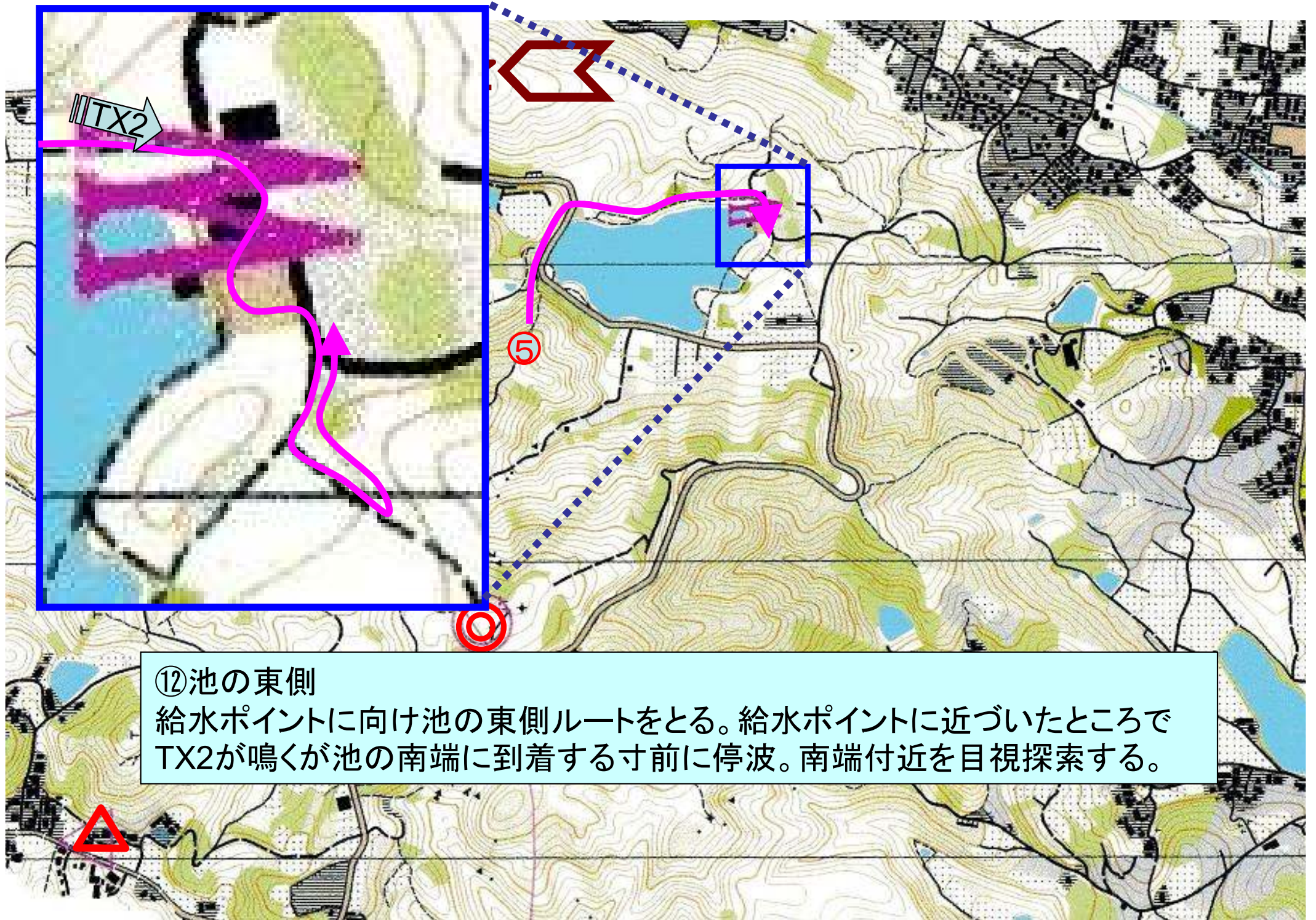


⑩TX5が鳴く
急な山道を登っていった方向だ。結構強いがダッシュどころか一歩一歩登るのが精一杯。



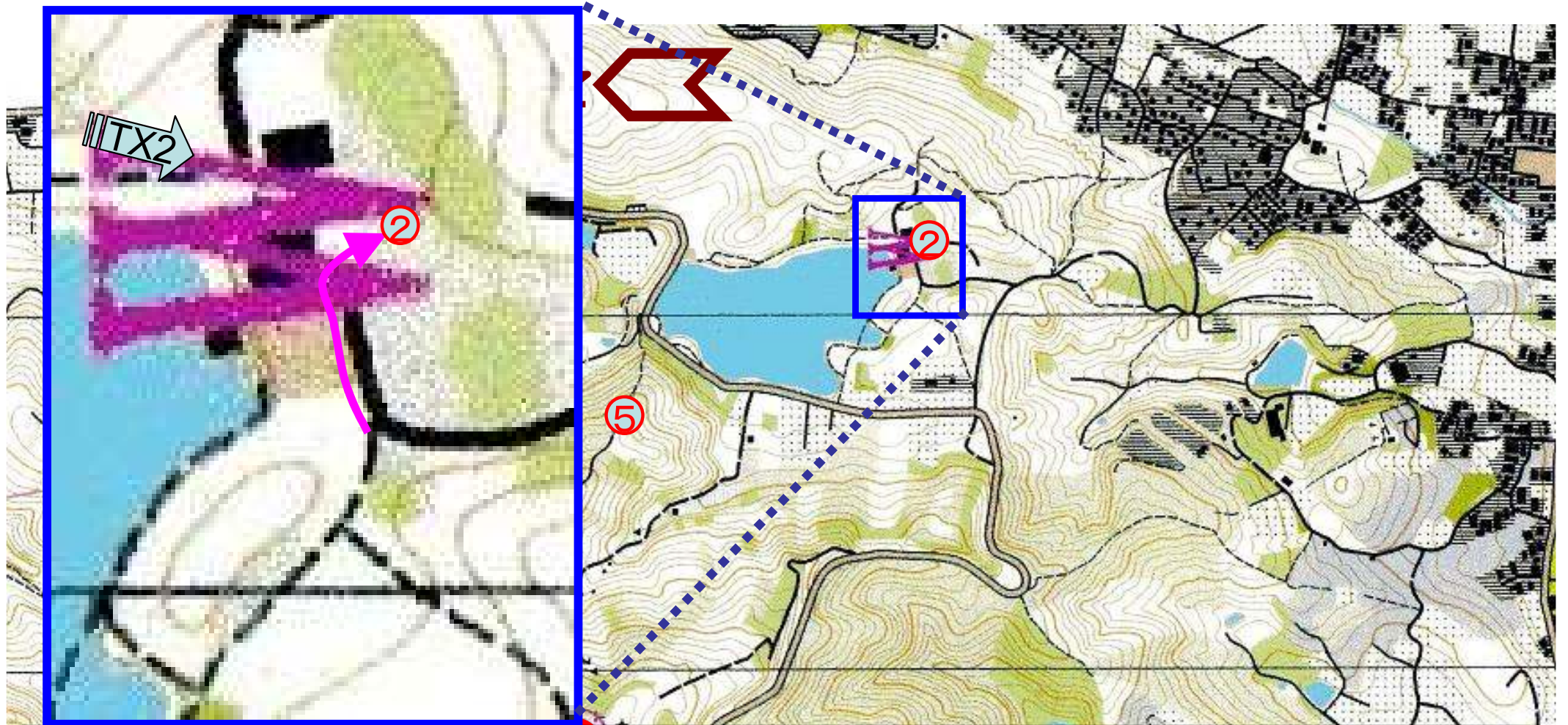
⑪TX5

少し平らなところへ出た。息を整えながらTX5を待つ。TX5が鳴いた。左後ろだ。林に突っ込んでいくとフラッグが見えた。いつの間にか登ってきたNさんとほぼ同時にTX5ゲット。



⑫池の東側

給水ポイントに向け池の東側ルートをとる。給水ポイントに近づいたところでTX2が鳴くが池の南端に到着する寸前に停波。南端付近を目視探索する。



⑬TX2

TX2が鳴く。後ろだ。あわてて戻りながら方探すが、建物の影響か方向が確定しない。大雑把な方向もわからない。こんな至近距離にいながらずい。位置を変えながら方探するがあせるばかりで1分が終わろうとしている。そこで思い出したのが最後の連続ピー音。これにかけるしかない。ピー音が始まると同時に一から方探、すなわち360度まわして大雑把な方向をつかむところからはじめ、次第に方向を追い込みながらダッシュする。方向が確定した。勢いよく茂みに突っ込む。フラッグがあった。間一髪横から来たOさんより先にゲット。いつの間にか5・6人が出現し後に続いた。



⑭次のターゲット
TX1,3はほぼ同じ方向でTX3の方が近そうだ。おそらくTX1は「怪しいエリア」
でTX3はその途中にあるのだろう。ルートとしては大きな道経由と細い道経由
だ。大きな道経由は一回登らねばならないので南下して細い道ルートを選ぶ。
すでにOさんの姿は無い。



⑮細い道

細い道を降りていくとOさんが止まって考えている。こんな姿は過去1回しか見たことが無い。大変珍しい。さらに下って交差点付近に来たときTX3が鳴く。結構強い。右方向の道の先だ。さんも突っ込んでいく。

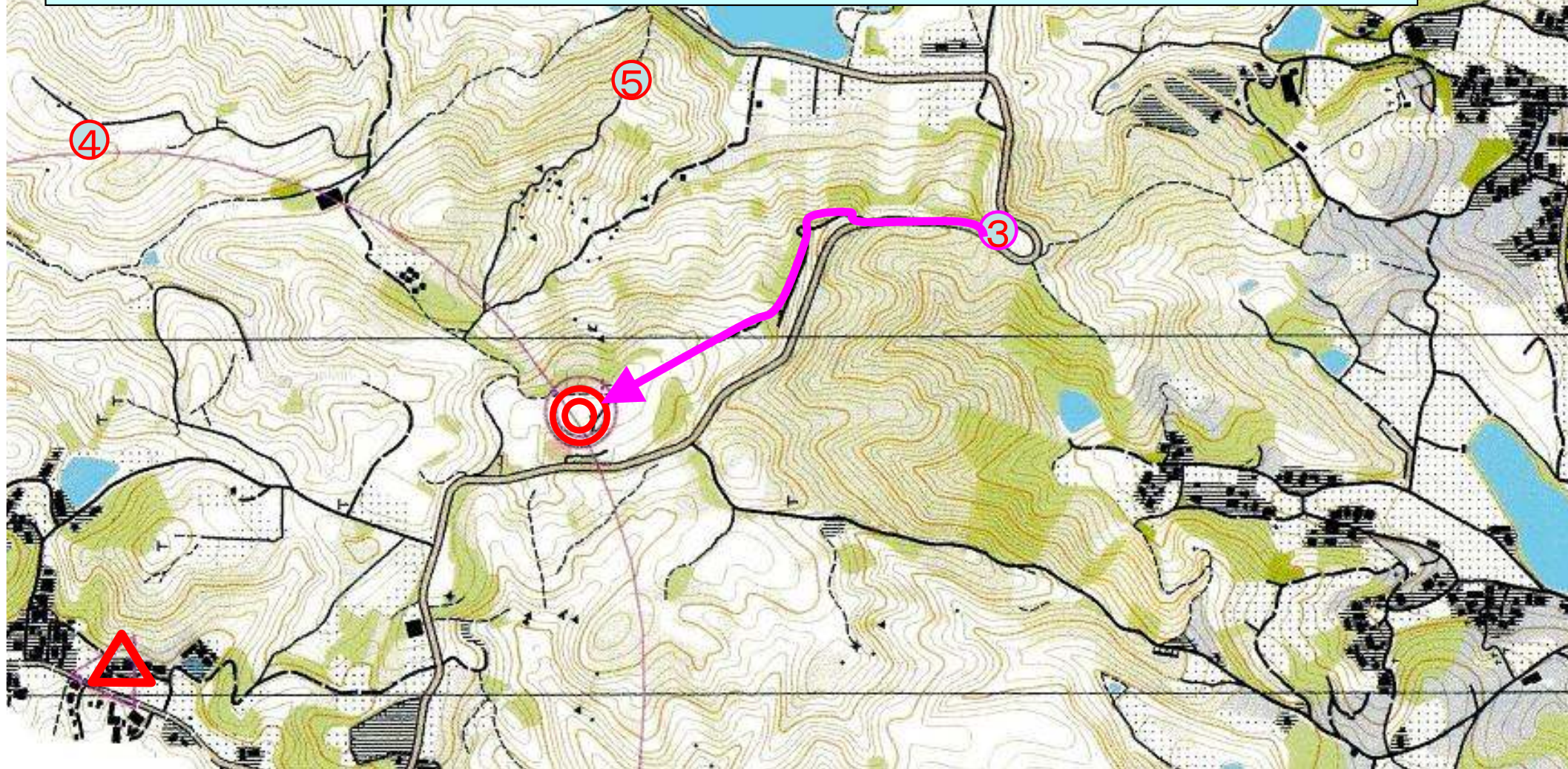


⑬ つるつるの山
次第に道がなくなり山を登ることになった。足場は悪く、ぬるぬるつるつるだ。木につかまりながらでも難しい。とんでもないところに来てしまった。TX3が鳴くがその方向には進めそうになり。少なくともTXまでの正規ルートでないことは確かだ。ようやく道路が見えた。助かった。



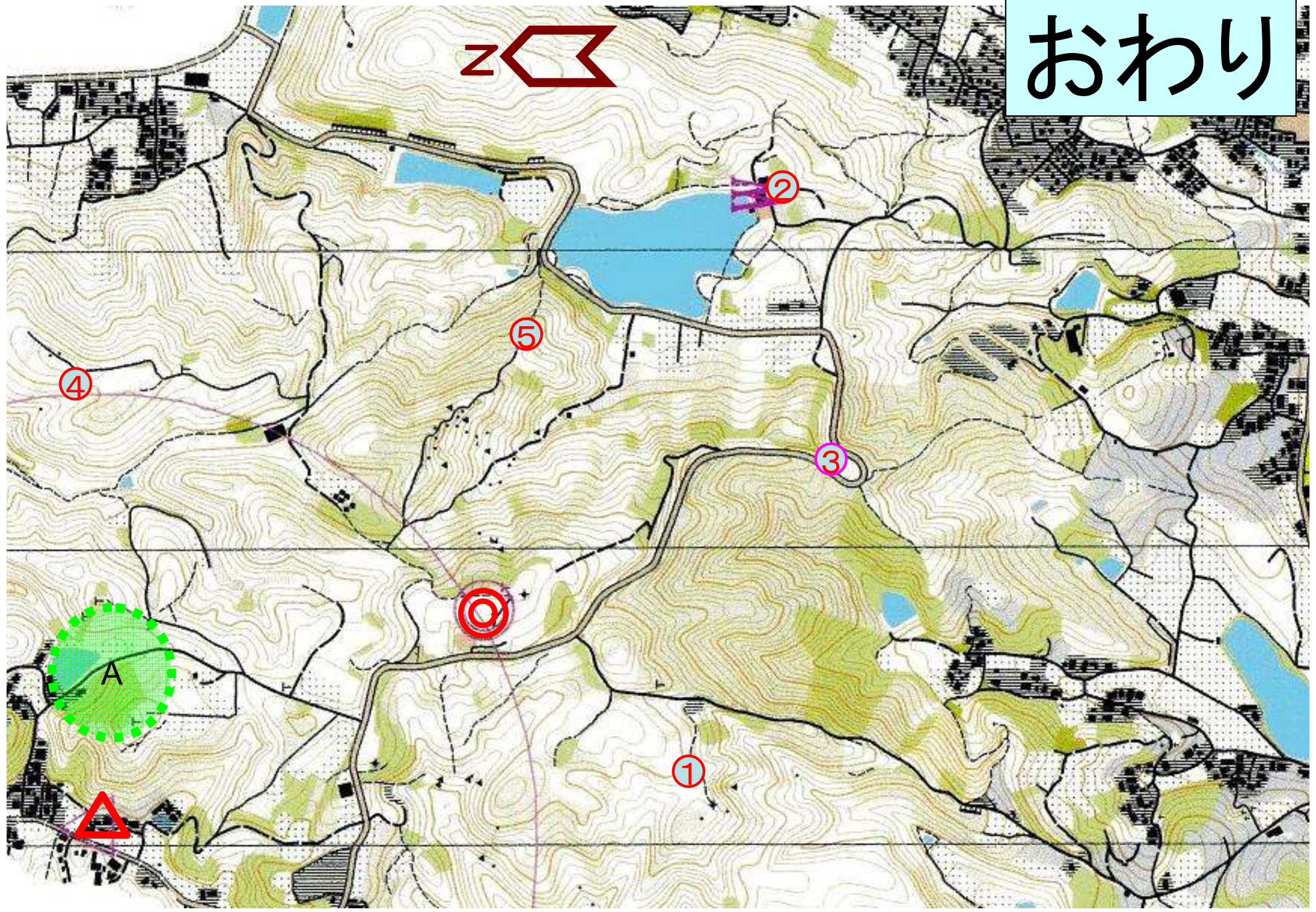
⑱ゴールへ

制限時間まで40分を切った。このままゴールへ向かって30分はかかるだろう。TX1をあきらめゴールへと向かう。結構きつい坂だ。TX5の坂ほどではないが同じように一步一步足を前に出すという感じだ。途中でNさんに抜かれる。ゴール



おわり

z



反省

なんと言ってもTX2からTX3へのミスコースで無用な藪コギをしてしまった。TX3,1が「怪しいエリア」と思い込んでいたのが原因。池の東側ルート上で、しっかりと方探していれば状況は大きく違ったに違いない。

恐るべし「思い込み」